

広報

# とちぎ

2016 **10**  
NO.78

発行/栃木市  
〒328-8686 栃木県栃木市万町9-25  
編集/総合政策部シティプロモーション課  
☎0282-21-2316  
<http://www.city.tochigi.lg.jp>



今月の1枚 ボールに飛び込み、どろだらけ (16頁に関連記事)

(第8回栃木どろんこバレー大会会場にて 8月11日撮影)

特集1

## ～好評です! 栃木市への移住体験～ 蔵の街やどかりの家

「田舎暮らしブーム」「移住ブーム」、近年、そんな言葉が当たり前のように聞かれるようになってきました。テレビやインターネット、新聞や雑誌などの各メディアでこぞって地方への移住が取り上げられる中、今年の7月、田舎暮らしを専門にした雑誌で特集された「50歳から住みたい地方ランキング」において、栃木市は全国第6位(東日本第1位)を獲得しました。また、中高年世代だけではなく、子育て世代からも、今、栃木市への移住が注目されています。

「小江戸」と呼ばれる蔵の街並みに代表される豊かな文化や、渡良瀬遊水地に代表される数々の美しい自然を擁する栃木市。そんな「栃木市での生活に興味があるけど、いきなり移住となると不安…」栃木市の風土や習慣を実際に感じてみたい…こうした声に応えてこの春オープンしたのが、広報とちぎ5月号にて紹介をしました。移住希望者向けに格安で宿泊体験ができる施設「移住お試しの家」です。その後、愛称を公募し、「蔵の街やどかりの家」と名付けられました。「栃木市のシンボル」となっている蔵の街並み。宿を借りて自分の家のように過ごしながら、栃木の良さを感じていただきたい。そんな想いを込めて名付けられたこの蔵の街やどかりの家は、5月より本格的にオープンし、8月までの4か月間で12組もの移住希望者を受け入れてきました。栃木市での生活を実際に肌で感じた移住体験者の中には、既に市内で新生活を始めた方や市内で家探しを始めた方も出てきています。今回の特集では、実際に移住体験をされた方の声や、市での家探しの制度についてご紹介します。

〈2頁につづく〉

### 目次

特集① 蔵の街やどかりの家	1
特集② ～非核平和と世界平和の実現のために～ 栃木市の非核平和事業	3
インフォメーション	
(今月の注目情報)	4
(各課からのお知らせ)	7
(募集・催し・講座)	9
(スポーツ)	10
みんなの伝言板	11
文化芸術のお知らせ	12
子育て広場	13
健康情報コーナー	14
渡良瀬遊水地のなかまたち	15
わが家の天使/お知らせ	15
まちかどニュース	16



栃木市マスコットキャラクターとち介

### 栃木市の人口

人口/163,158人 (-19)  
 男/ 81,084人 (-4)  
 女/ 82,074人 (-15)  
 世帯数/ 63,798世帯 (41)  
 ※住民基本台帳より  
 7月末現在( )内は前月比

### 市章



栃木市の「と」の文字をモチーフとして、緑色の4本のラインは自然、歴史、地域、人を表し、青色はそれぞれの流れが一つとなった大河の流れを、その先にあるオレンジ色の円は輝かしい未来と人々の情熱を表しています。